

東京・丸の内コース

(内覧できない建物もあるので、ご注意ください)

★=重要文化財 ★=登録有形文化財 ★=都指定有形文化財

1

丸石ビルディング
(旧太平洋ビルディング)

1931(昭和6)年 山下寿郎

map

H-4



日本では珍しい中・ヨーロッパの香りを漂うロマネスク様式のオフィスビル。竣工した1931年以来、テナントの需要に応えながら設備の改善を重ね、威容を保持している。スクラッチタイル(画目模様タイル)の上層階を支える石貼りの1階は、リスミカルにアーチが並び、動物像やレリーフなども見事な装飾を施している。

2

山梨中央銀行東京支店
(旧第一銀行東京支店)

1929(昭和4)年 徳永 庸

map

H-4



竣工以来、銀行として使われている。当初はファード(正面)にオニオンスーパーの列柱などが見られたというが、戦災等によって現在の簡素なデザインとなった。昭和初期の銀行建築の典型的なスタイル。当時のままの入口ドアや内部空間にも注目したい。

3

日本銀行本館 ★

1896(明治29)年 辰野金吾

map

H-4



江戸時代の金座跡に建てられた日本人建築家の手による初の国家的な近代西洋建築。バロック調を基調とした建物は、全体的にぎこちないとい評されることが多いが、竣工時40代前半だった辰野が、西欧の様式建築に果敢にチャレンジした様子が見える。1932(昭和7)年、辰野以下の長野宇平治が大規模な増築を行った。

5

東京駅丸ノ内内屋 ★

1914(大正3)年 辰野金吾

map

G-5



竣工時、改札口は皇居のある丸の内側になく、中央は皇室専用の入口だった。近年再整備された「行幸通り」は、その「皇室専用貴賓出入口」からまっすぐに皇居へと向かっている。3階部分やドームは戦時に被災して焼け落ちたが復元工事ににより2012(平成24)年に蘇り、竣工直後の面影を伝えている。

8

明治生命館 ★

1934(昭和9)年 岡田信一郎

map

F-6



コリント式オーダーの列柱が、ギリシャ神殿を想起させる新古典主義建築で、オフィス礼の傑作。古典的外観とは異なり、構造や設備は当時の最先端の技術が採用された。設計はコンペで落選した岡田信一郎。昭和の建築として初めて重要文化財に指定された。

4

日本工業倶楽部 ★

1920(大正9)年 横河工務所(松井貴太郎)

map

G-5



当時のアメリカ式オフィスビルの典型。「雅にして堅」を旨とし、様式的な構成でありつつ、ウィーン分離派の工芸作品を彷彿させる幾何学的な新しい造形を取り入れている。老朽化に伴う建て替えで1/3を保存、残りを再現。屋上へのパノラマをもつ炭坑夫と糸巻きをもつ紡績工像は、当時の2大工業の石炭と紡績を表す。

6

東京中央郵便局

1931(昭和6)年 吉田鐵郎

map

G-5



日本建築の柱梁構造を思い起こさせるモダニズム建築の名作として1931年に竣工。様式建築の縦長の窓が主流だった当時、大きな開口部や横につながる窓は驚きをもって迎えられた。解体が決定していたが部分的に保存・再生され、2012(平成24)年にJPTタワーの一部として公開された。

7

三菱一号館美術館

1894(明治27)年 ジョサイア・コンドル

map

F-6



もとは三菱が建設した丸の内初のオフィスビル。ジョサイア・コンドルの設計により、優美で軽快な印象のクイーン・アン様式でデザインされた。老朽化により取り壊されたが、原設計をもとに2009年に復元。翌年、美術館として生まれ変わった。忠実に復元された内部空間も見どころ。

9

DNタワー21
(旧第一生命館・農林中央金庫有楽町ビル)

1938(昭和13)年 渡辺 仁・松本与作

map

F-6



渡辺仁・松本与作設計の第一生命館と、渡辺設計による農林中央金庫有楽町ビルを1995(平成7)年に解体・復元しタワー体化して、高層ビルへと建て替えたもの。第一生命館(手前)は戦後GHQ庁舎となったことでも知られる。マッカーサーが執務した部屋は「マッカーサー記念室」として保存されている(見学は通常不可)。

飯田橋・麹町コース

(内覧できない建物もあるので、ご注意ください)

★=重要文化財 ★=登録有形文化財 ★=都指定有形文化財

1

東京ルーテルセンタービル

1937(昭和12)年 長谷部鋭吉

map

D-2



日本神学造形として「祈り」をテーマに建てられた。シンプルな造形だが、塔の上部や礼拝堂の窓のデザインが印象深い建物。設計者の長谷部鋭吉は、こうした重厚ななかにも部分的に様式の意匠を導入するのが得意だったといわれている。

2

駐日フィリピン大使館公邸

1935(昭和10)年 横河時介

map

D-2



もとは安田財閥の一人安田岩次郎の住まいとして建てられた。岩次郎の邸にあたるオノ・ヨーコが幼少期を過ごしたことも知られる。デザインはスペイン風を基調にゴシック調や和風などが混在する。フィリピンの国外国家の歴史建造物にも指定されている。

3

九段ハウス (旧山口萬吉邸) ★

1927(昭和2)年 内藤多仲(構造)/木子七郎(監修)

map

D-2



小物商材を成した山口家5代目の自宅として建てられたスパニッシュ様式の洋館。構造は東京タワーで知られる内藤多仲、意匠を木子七郎のほか今井兼次、吉田鐵郎、家業や建築を頼田忠、という様々なメンバーが手がけた。現在は会員制ビジネススイートバーション拠点として保存・活用されている。

4

近衛師団司令部庁舎 ★
(元東京国立近代美術館工芸館)

1910(明治43)年 田村 鎮

map

D-4



1910年に近衛師団司令部として建てられたもの。ネオ・ゴシック様式で、赤レンガと白い石材の対比、細いバットレス(補助壁)が並ぶリスミカルな壁面などが特徴。田村鎮は多くへの軍関連施設を手がけた。

12

法善会館

1937(昭和12)年 三菱合資会社社務部(藤村 勘)

map

E-6



司法界の社交場として建てられた倶楽部建築。小さな建築ではないが、お堀に面したファード側の建物の高さを低く抑えて、圧迫感を軽減している。全体におとなしめのデザインだが、尖塔や華奢な上に見えるステンドグラスなどに特徴を見ることができ。現在は結婚会場やレストランとしても利用されている。

9

DNタワー21
(旧第一生命館・農林中央金庫有楽町ビル)

1938(昭和13)年 渡辺 仁・松本与作

map

F-6



渡辺仁・松本与作設計の第一生命館と、渡辺設計による農林中央金庫有楽町ビルを1995(平成7)年に解体・復元しタワー体化して、高層ビルへと建て替えたもの。第一生命館(手前)は戦後GHQ庁舎となったことでも知られる。マッカーサーが執務した部屋は「マッカーサー記念室」として保存されている(見学は通常不可)。

10

フェリーチェガーデン日比谷 ★

1910(明治43)年 福田重義

map

F-6



日本初の西風庭園として開園した日比谷公園の監理事務所として建設された。ドイツ風バングロースタイルで、三角屋根を正面に見せる立面の工芸や出窓の持ち送りなど意匠的な装飾が特徴。現在はウェディング会場として活用されている。

11

市政会館・日比谷公会堂

1929(昭和4)年 佐藤 一

map

E-7



当時の東京市長・後藤新平が設立した東京市政調査会、安田財閥・安田次郎の寄付を受け、公会堂を設計した金館を建設。設計は早稲田大学の隈理顕堂でも知られる佐藤一による。垂直性を強調したデザインで、見る角度によって表情を変える茶褐色のタイルが印象的。

5

駐日英国大使館

1929(昭和4)年頃 英国(外務省)

map

D-4



飯田橋から麹町へかけてのルートは大使館や名家の旧邸宅など点々が点在。洗練されたクラシックな建物から当時の暮らしを連想してみるのもいい。

🍴=飲食できる施設

近代建築の巨匠たち

●各館の横に記した番号は、各コースで紹介した建物を表します。

ジョサイア・コンドル

7 9

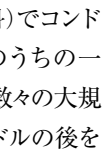


(1852-1920)

お雇い外国人として25歳で来日。数々の国家プロジェクトを手掛ける一方、本格的な建築教育を伝え、辰野金吾ら多くの日本人技術者を育てた。河鍋晩斎に師事するなど日本文化を愛し、来日後ほぼ離日することなく日本で没した。政府を離れた後は三菱や三井など財閥の仕事で多くこなし、原っぱだった丸の内に「丁午倫敦」と呼ばれるレンガ街を作り出した。

辰野金吾

3 5



(1854-1919)

佐賀県生まれ。工部大学校造家学科(現・東京大学工学部建築学科)でコンドルに学んだ第一期生4人のうちの一人。日本銀行、東京駅など数々の大規模建築を手掛け、またコンドルの後を継いで学校で多くの人材を育てたことから、日本近代建築の父とも呼ばれる。レンガと白い花崗岩を組み合わせた「辰野式」の建築は、現在でも全国各地に残されている。

伊東忠太

10



(1867-1954)

山形県生まれ。日本初の建築史家で、「建築」という言葉の提唱者としても知られる。日本建築の源流を求めて中国、インド、イスラム圏を調査し、築地本願寺など、自身の設計作品にも積極的にその成果を取り入れた。アジア、東洋風ともいわれるその独特の作風は、モダニズム建築の導入一辺倒だった当時の建築界にあって異色の存在だった。

伊東忠太

10



(1867-1954)

山形県生まれ。日本初の建築史家で、「建築」という言葉の提唱者としても知られる。日本建築の源流を求めて中国、インド、イスラム圏を調査し、築地本願寺など、自身の設計作品にも積極的にその成果を取り入れた。アジア、東洋風ともいわれるその独特の作風は、モダニズム建築の導入一辺倒だった当時の建築界にあって異色の存在だった。

神田・神保町コース

(内覧できない建物もあるので、ご注意ください)

★=重要文化財 ★=登録有形文化財 🍴=飲食できる施設

1

マーチエキュート神田万世橋
(旧万世橋駅舎)

1912(明治45)年 鉄道院

map

GH-2



1943年の休止時まで、万世橋駅として使われていた駅の遺構を再利用した商業施設。万世橋駅は東京駅が開業するまで中央線の起点として栄えた。1923(大正12)年に関東大震災で焼失した駅舎は、東京駅と並二つの豪奢なものだったという。

2

松本家住宅主屋 ★

1931(昭和6)年 松尾栄太郎

map

G-3



大工棟梁・松尾栄太郎の設計施工で建てられた、典型的な震災復興期の建物。もとは青果物問屋の店舗併用住宅で、2階建てに見えるが実は3階建て。軒下の「出桁」が大きな特徴。角地のため、狭い間口と長い奥行きが対比がよくわかる。

3

神田まつや

1925(大正14)年 設計者不詳

map

G-2



創業は1884(明治17)年で、当時から現在地で営業を続ける老舗の蕎麦屋。現在の建物は関東大震災後の1925年築で、商家ではあるが松本家と同様出桁が2階軒下に見える。左右入口上部の松模様欄間飾りも特徴。

4

山本歯科医院 ★

1929(昭和4)年 設計者不詳

map

G-2



鉄筋コンクリート造のように見えるが、木造3階建ての医院併用住宅。コース(軒彫刻)、装飾の装飾、白い上げ下げ板などデザイン性豊かな震災復興期の看板建築の一例。今も3代目の院長による治療が行われている。現役の歯科医院である。

5

いせ源

1930(昭和5)年 設計者不詳

map

G-2



1830(天保11)年創業のあんこう料理専門店。現在の建物は1930年築の入母屋造り・木造3階建てで、2階櫓間の装飾的な彫り物や創業時から使われているという土製看板が見どころ。

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ

10

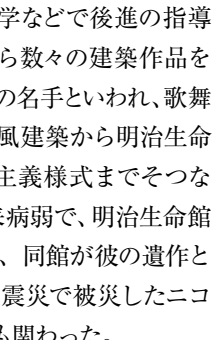


(1880-1964)

キリスト教布教のために24歳で来日。本格的な建築教育を受けたことはなかったが、勤勉さと豊富な知識、さらに優秀な所員の手により多くの建築を日本に残している。彼にとって建築設計は布教活動の一環で、依頼者の要求に応じつつ、住み心地のよい健康的で能率的な建物をつくることは、キリスト教的生活を徹底的に実践する姿勢の現れでもあった。

岡田信一郎

8 9



(1883-1932)

東京生まれ。東京帝国大学で建築を学び、早稲田大学などで後進の指導にあたるかわら数々の建築作品を発表。様式建築の名手といわれ、歌舞伎座のような和風建築から明治生命館のような古典主義様式まで幅広くこなした。生来病弱で、明治生命館の建設中に病没。同館が彼の遺作となった。関東大震災で被災したニコライ堂の修復にも関わった。

渡辺 仁

9



(1887-1973)

東京生まれ。代表作としては銀座和光、東京国立博物館本館などが挙げられる。洋風の躯体に和風の屋根を載せた「帝冠様式」が注目されたり、批判されることが多いが、本人は自身の建築主張を巧みにつとらせず、さまざまな様式を巧みに用いた。歴史主義からモダニズムへと移り変わる時代のなかで、新たな造形を模索し続けた建築家といえる。

老舗が軒を連ねる神田須田町界隈の昭和レトロな木造建築群を皮切りに、関東大震災復興期に建てられたさまざまな建物に出会える。

6

竹むら

1930(昭和5)年 設計者不詳

map

G-2



作家・池波正太郎も通った甘味の名店。震災復興期の1930年に創業し、奇跡的に戦災を免れた。入母屋造りの木造3階建てで、庇が重なり4階にも見える。2階櫓下に施された竹と梅の模様など、職人の技も見どころ。

7

ぼたん

1929(昭和4)年 設計者不詳

map

G-2



1897(明治30)年頃創業といわれる菊さすの専門店。現在の建物は周辺と同様、震災後の1929年築。桐蔭で建物が迫り、道路から全体像をうかがうのは難しいが、店の玄関を入ると、格式ある式台を見ることができ。

8

高島宅

1930(昭和5)年頃 設計者不詳

map

G-2



いわゆる「山の手」だった戦後街は関東大震災後、東京で初めて区画整理が行われた地域。その際にできた屋敷地の面影をとどめる貴重な近代和風建築。石垣の上奥に建てられているため主屋を近くで見るとは難しいが、一枚板の門扉からも重厚さが伝わる。

9

ニコライ堂 正教会東京復活大聖堂

1891(明治24)年 ミハイル・アレクシエヴィッチ・シュールボフ、ジョサイア・コンドル

map

G-2



日本では最大級のビザンチン様式の建物。宣教師ニコライは、この聖堂の設計を母国ロシアのシュールボフに依頼。その面影をもとにコンドルが実施設計を行い竣工したが、1923(大正12)年の震災で大きな被害を受け、上部ドームが崩落。岡田信一郎が修復設計を行った。キリスト教でもっとも一般的なギリシャ十字型平面の上に大ドームが載り、細部にはビザンチン様式のモチーフが散りばめられている。

10

湯島聖堂

1935(昭和10)年 伊東忠太

map

G-2



江戸期の昌平坂学所。大正期に国史館に指定されたが直後に関東大震災により一帯を焼失。1935年に伊東忠太が現在いる建物となった。

11

井政
(遠藤家旧店舗・住宅主屋)

1927(昭和2)年 設計者不詳

map

G-1



徳川家康が江戸城をつつた際に、木材調達を担当した材木商の旧邸。現在の建物は、1927年に神田錦倉町に建てられ、戦後2階部分などを増築。贅沢な部材がふんだんに使用されており、細部の職人技も見どころがある。

12

旧文化学院

1936(昭和11)年 西村伊作

map

F-2



与謝野晶子、島崎藤村によって創設された独特の教育を行った文化学院の建物。特徴的なアーチの入り口部分が残された。設計は学院創業者でもある西村伊作。保存を手がけた飯倉建築研究所を率いた飯倉重三は西村の次女ユリの伴侶。

13

神田猿樂町町会詰所

1930(昭和5)年頃 設計者不詳

map

F-2



交通として建てられ、その便所が詰所として利用。映画やドラマで文芸として使用されることも。十字路の角面通りに沿うように、斜めにガッパしたような変形平面で、鋭角部分など処理しているのは親しみやすさを求めているように見える。

14

カトリック神田教会 ★

1928(昭和3)年 マックス・ヒンデル

map

F-2



バシリカ(ローマの集会堂)式の三層式聖堂。半円アーチの窓や軒など豊かな装飾が目まぐる。当初のものではないがステンドグラスも美しい。設計者のヒンデルは、スイス建築家・新湯河木など日本各地で教会を手がけている。

名建築でひと休みしませんか？

歩き疲れたら、無理せず休憩をとることも大切。今回めぐる近代建築のなかには、飲食店やカフェもあります。ノスタルジックな空間を楽しみながら、ひと休みしましょう。

Café1894 (三菱一号館美術館内)

丸の内2-6-2



美術館に併設されたカフェバーは、天井が高く開放感あふれるクラシックな空間。竣工当時の営業室だった場所を当時の設計図や資料をもとに可能な限り忠実に復元した。ティータイムには自家製クラシックアップルパイや美術館の展覧会に合わせた特別メニューも楽しめる。

文房堂Gallery Cafe

神田神保町1-21-1



古本屋が建ち並び神田神保町に位置する文房堂。3階フロアでは、一杯すばハンドドリップした、新しい珈琲を提供してくれる。サンドイッチやタルト専門店「STYLE'S CAKE & CO.」のケーキも人気だ。日常ののけいこ中階階からは、すずらん通りを見渡せる。

山の上ホテル

丸の内2-6-2



山の上ホテルオリジナルギフトコレクション「カバナー」1,620円/山の上ホテル

建築をモチーフにしたお土産にぴったりなグッズも

さんぽの途中であつた近代建築をモチーフにした、オシャレなグッズを紹介。さんぽの記念に、お土産に、あなたはどれを選ぶ？

大内原レナがめぐり1,047円/Store 1894 (三菱一館美術館内)

TRAINART オリジナル ロバート・マサキ 450円/ミュージアムショップ/レニエアート東京ステーションギャラリー店

ニコライ堂 オリジナル一筆箋 200円/ニコライ堂事務所

山の上ホテル オリジナルギフトコレクション「カバナー」1,620円/山の上ホテル

特別映像 地図上のQRコードに 合わせてみよう！

＊値段は税別価格

15

東方学会本館

1926(大正15)年 設計者不詳

map

E-2



中学校として建てられたといわれる鉄筋コンクリート造のモダニズム建築。シンプルな構成で、壁から縁や柱を出すような底意匠の窓台と入口の半円アーチがデザイン的な特徴といえる。東方学会は戦後外務省所管で発足した学術団体。内覧不可)

16

山の上ホテル

1937(昭和12)年 ウィリアム・メレル・ヴォーリズ

map

F-2



1937年に欧米の生活様式を地域の人々に伝えるモダニズム建築として建てられ、戦後の米軍接収を経てホテルとなった。数多くの作家や文化人に愛されてきた理由は、設計者ヴォーリズの独特のスケール感によるところがあるといわれている。長い年月のあだに失われていた竣工時のアル・ド・コルビエ、当時の設計図を基に復元し2018年12月、リニューアルオープンした。

17

文房堂ビル

1922(大正11)年 手塚竜太郎

map

F-3



明治20年創業の老舗の画材店本店。竣工翌年の関東大震災でも倒壊を免れた鉄筋コンクリート造だった。1990(平成2)年に建て替えられファードの一面だけが保存されている。四週アーチ窓、スクラッチタイル、丁寧に施された形制的な装飾など見どころは多い。

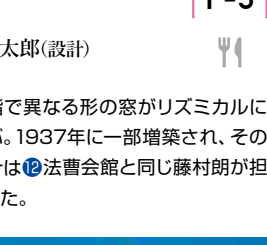
18

学士会館 ★

1928(昭和3)年 佐野利器(構造)/高橋貞太郎(設計)

map

F-3



耐震工の大家・佐野利器が構造を担当した強固な鉄筋鉄骨コンクリート造である。デザインは、後に日本建築設計は●法善会館と同じ藤村が担当した。

ちよだ歴史さんぽMAP

3



ちよだ歴史さんぽMAP

3



ちよだ歴史さんぽMAP

③ 近代建築めぐり

明治維新にともない
中央官庁街をはじめ、いち早く
近代化を推し進めてきた
千代田区には、明治、大正、
昭和初期の魅力的な
近代建築が至るところに残る。
建物に刻まれた時代の
記憶を求めて歩いてみよう。



靖国神社 遊就館
伊東忠太・陸軍省 1931年
もとは帝国陸軍の武器陳列所。初代建物は明治初期の名建築と謳われたが関東大震災で倒壊。伊東忠太監修のもと「近代東洋式」なる和洋折衷の現建物がつくられた。

三番町共用会議所別館
大江 安 1954年
倒壊で活躍し、明治政府でも中核を築いた山縣有朋の旧宅跡。造園に造詣の深かった山縣による庭園が残る。別館は戦後の建築で、法政大学校舎や国立能楽堂などで知られる大江宏の設計によるもの。日本の伝統様式とモダニズムを併せ持った姿の特徴が随所に見られる。今後は一般公開も行われる予定。

迎賓館赤坂離宮【国賓】
片山東熊 1909年
もとは東京御所として、建築、美術、工芸など当時の各界の総力を結集してつくられた宮殿建築。設計者の片山は、辰野金吾らと同じくコンドルに学んだ第一期生。現在も国賓来日時の迎賓館として使用される施設だが、暮らしの面からは当ใด一般参観も可能。

360° QRコードで特別映像を楽しむ方法

この地図に載っている6つのQRコードは、各建物を360度カメラで撮影した特別映像へのリンクになっています。
●見たい建物のQRコードを、お手持ちのスマートフォンで読み取ります。
※iPhoneの場合、標準カメラからでも読み込めます。

●スマートフォンで上下・左右に動かしながら、好きな角度で動画や映像をご覧ください。
360度映像によって、ふだん入れない建物内部に立っているような臨場感が味わえます。
※一部端末では作動しない場合もあります。また、歩きスマホは危険ですのでご注意ください。

旧首相官邸
下元 達 1929年
関東大震災後、中央官庁街の耐震性を重視して真っ先に新築され、現在も首相官邸として利用されている。高い壁に囲まれて外から見ることができないが、ライト風の華麗な建物。

赤坂プリンスクラシックハウス
井原 隆 1909年
もとは東京御所として、建築、美術、工芸など当時の各界の総力を結集してつくられた宮殿建築。設計者の片山は、辰野金吾らと同じくコンドルに学んだ第一期生。現在も国賓来日時の迎賓館として使用される施設だが、暮らしの面からは当ใด一般参観も可能。

東京・丸の内周辺コース

- スタート JR神田駅
- 丸石ビルディング
 - 山梨中央銀行東京支店
 - 日本銀行本館
 - 日本工業倶楽部
 - 東京駅丸ノ内本屋
 - 東京中央郵便局
 - 三菱一号館美術館
 - 明治生命館
 - DNタワー-21 (旧第一生命館)
 - フェリーチエガーデン日比谷 (旧日比谷公園事務所)
 - 市公会館・日比谷公会堂
 - 法曹会館
 - 法務省旧本館 (ホレンガ棟)
 - 財務省 (旧大蔵省庁舎)
 - 文部科学省 (旧文部省庁舎)
- ゴール 虎ノ門駅

神田・神保町コース

- スタート JR秋葉原駅
- マーチエキュート神田万世橋 (旧万世橋駅舎)
 - 松本家住宅主屋
 - 神田まつや
 - 山本歯科医院
 - いせ源
 - 竹むら
 - ぼたん
 - 高島宅
 - ニコライ堂 (日本バプティスト正教会東京復活大聖堂)
 - 湯島聖堂
 - 井政 (遠藤家旧店舗・住宅主屋)
 - 旧文化学院
 - 神田猿楽町町会話所
 - カトリック神田教会
 - 東方学会本館
 - 山の上ホテル
 - 文房堂ビル
 - 学士会館
- ゴール 神保町駅

飯田橋・麹町コース

- スタート JR飯田橋駅
- 東京ルーテルセンタービル
 - 駐日フィリピン大使館公邸
 - 九段ハウス (旧山口萬吉邸)
 - 旧近衛師団司令部庁舎 (元東京国立近代美術館工芸館)
 - 駐日英国大使館
 - 九段小学校
 - 赤坂プリンスクラシックハウス (旧李王家邸)
 - 国会議事堂 (旧帝国議会議事堂)
- ゴール 国会議事堂前駅

※紹介した建物のなかには、個人宅やオフィスも含まれ、内覧できない場合がありますのでご注意ください。ご配慮ください。

地図凡例

- JR線
- 東京メトロ銀座線
- 東京メトロ丸ノ内線
- 東京メトロ有楽町線
- 東京メトロ東西線
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ有楽町線
- 東京メトロ丸ノ内線
- 都営浅草線
- 都営三田線
- 都営新宿線
- 都営大江戸線
- 主要道路
- 高速道路
- トイレ
- 美術館・博物館
- 歴史的建造物
- 神社
- 寺
- 病院
- インフォメーションセンター
- ホテル
- 警察署・文書
- 郵便局

※コース外および千代田区外の近代建築は「で」で表した
※地図上に記した近代建築の名称は、基本的に現在使用している名称を用いた